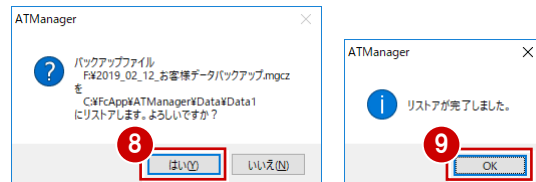
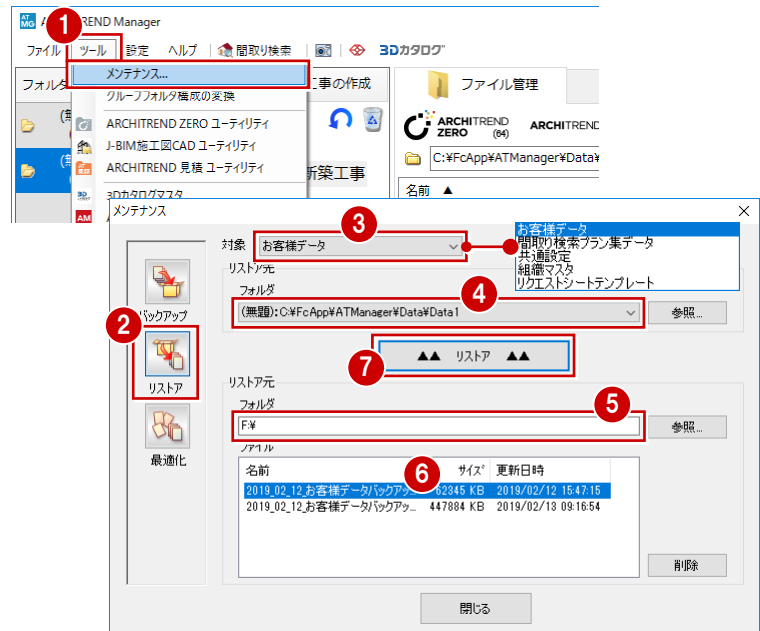


ハードディスクの故障などによりデータ復旧の必要がある場合や、PCの入れ替え時には、バックアップしたデータをハードディスクに戻す作業（リストア）が必要になります。

9-1 Managerのデータ・マスタをリストアする

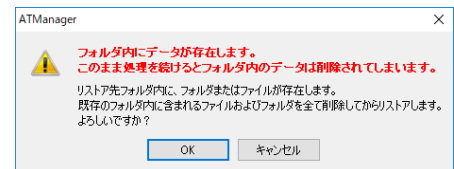
Managerの「メンテナンス」でバックアップしたお客様データフォルダ、共通設定、組織マスタをリストアします。

- ① Managerの「ツール」メニューから「メンテナンス」を選びます。
- ② 「リストア」をクリックします。
- ③ 「対象」でリストア対象のデータを選びます。
- ④ 「リストア先」の「フォルダ」で、お客様データを復元するフォルダを指定します。
- ⑤ 「リストア元」の「フォルダ」で、バックアップファイルが保存されているフォルダを指定します。
- ⑥ リストアするファイル（.mgcz）を選択します。
- ⑦ 「▲▲ リストア ▲▲」をクリックします。
- ⑧ 確認画面で「はい」をクリックします。処理が始まります。
- ⑨ 完了の確認画面で「OK」をクリックします。



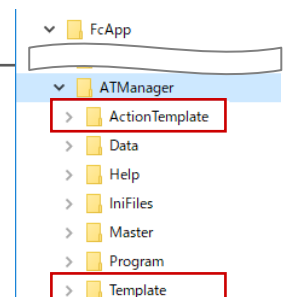
リストア先にファイルが存在すると

リストア先のフォルダにファイルやフォルダが存在する場合、それらを削除するかどうかの確認画面が表示されます。フォルダ内のファイルやフォルダをすべて削除してからリストアするには「OK」を、リストア先を変更するには「キャンセル」を選びます。既存のお客様データフォルダをリストア先に指定した場合、「OK」をクリックすると、そのフォルダに保存されているお客様データはすべて消えますのでご注意ください。



9-2 Managerのテンプレートをリストアする

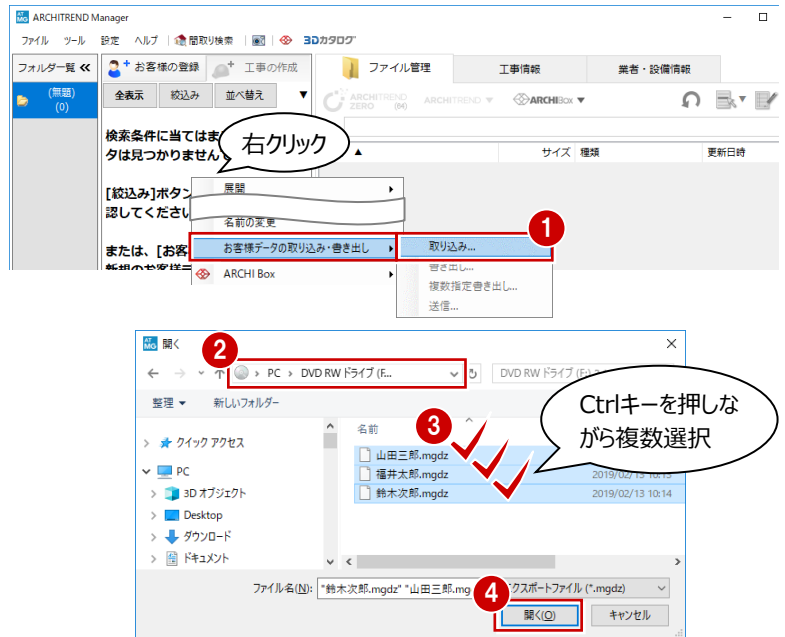
エクスプローラ等でリストア先のフォルダにコピーしてください。



補足 お客様ごとにバックアップしたデータをリストアするには

Managerの「お客様データの取り込み・書き出し」で出力したバックアップファイル（.mgdz）をリストアするには、次のように操作します。

- 1 一覧で右クリックして、「お客様データの取り込み・書き出し」の「取り込み」を選びます。
- 2 バックアップファイルが保存されているフォルダを指定します。
- 3 リストアするファイル（.mgdz）を選択します。Ctrl キーを押しながらクリックすると、複数選択できます。
- 4 「開く」をクリックします。



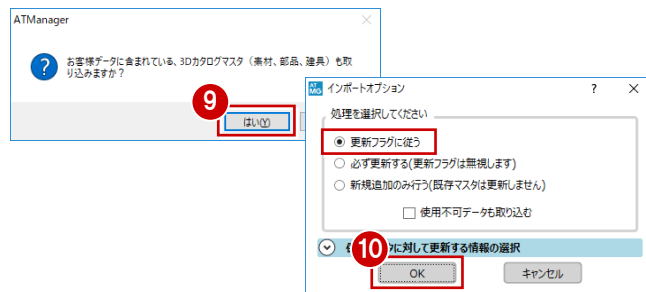
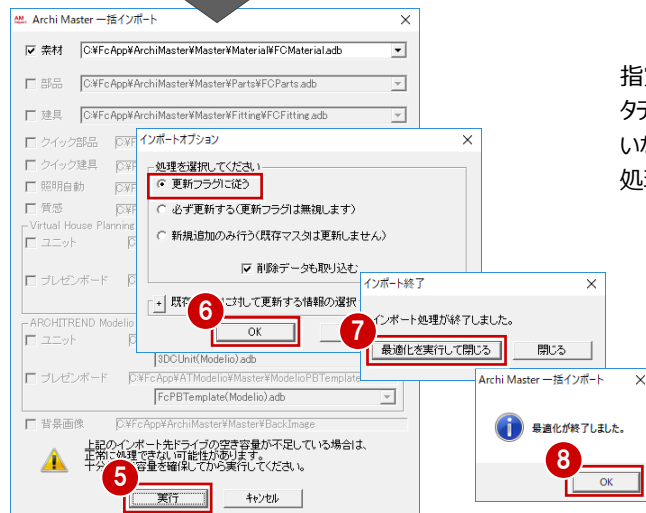
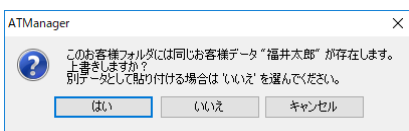
- 5～10 指定したファイルに素材・部品・建具マスタのデータが保存されている場合は、マスタのインポート画面が表示されます。「更新フラグに従う」が選択されていることを確認して、Archi Masterや3Dカタログマスタのデータも取り込みます。

指定したファイルにマスタデータが保存されていない場合は、ここで処理が完了します。

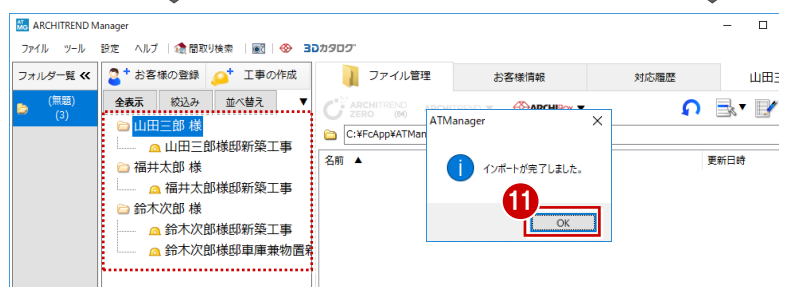
同じお客様データが存在する場合

現在使用しているお客様データフォルダに同じお客様データが存在する場合は、「開く」をクリックした後、確認画面が表示されます。

「はい」：現在のお客様データに上書きする
 「いいえ」：お客様の名前の末尾に連番を付けて別のお客様データとして取り込む
 例) 福井太郎(1) 様



- 11 完了の確認画面で「OK」をクリックします。



9-3 ZEROの物件データをリストアする

ZEROの「物件選択」ダイアログで出力したバックアップファイル（.fcbz）をリストアします。

- 1 ZEROの「物件選択」ダイアログで「インポート」をクリックします。

- 2 バックアップファイルが保存されているフォルダを指定します。

- 3 リストアするファイル（.fcbz）をダブルクリックします。

※ 複数選択はできません。

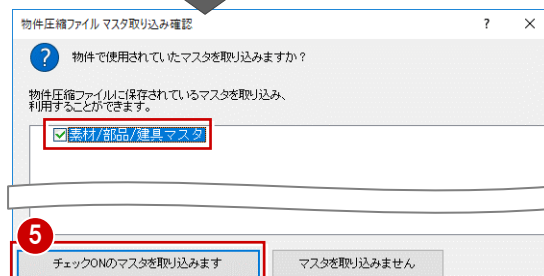
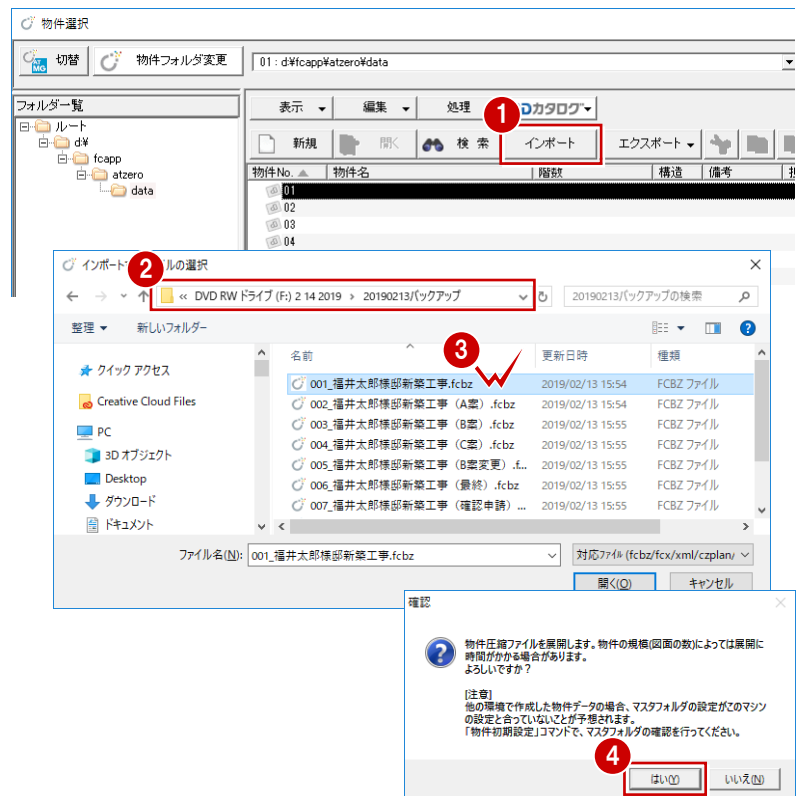
- 4 確認画面で「はい」をクリックします。

- 5 指定したファイルにマスターデータが保存されている場合は、「物件圧縮ファイル マスタ取り込み確認」ダイアログが表示されます。取り込むマスタをONにして、「チェックONのマスタを取り込みます」をクリックします。

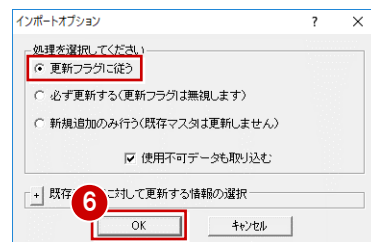
- 6 続けて、「インポートオプション」ダイアログが開くので、「更新フラグに従う」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。

処理が完了すると、取り込まれた物件データが一覧に登録されます。

- 7 同様にして、バックアップファイルをすべて取り込みます。



指定したファイルにマスターデータが保存されていない場合は、ここで処理が完了します。



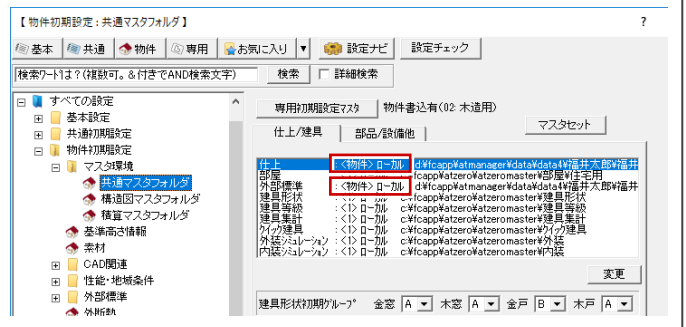
物件No.	物件名	階数	構造	備考	担当者	更新日
01	福井太郎様邸新築工事	2F	木造			2019/02/13
02	福井太郎様邸新築工事(A案)	2F	木造			2019/02/14
03	福井太郎様邸新築工事(B案)	2F	木造			2019/02/13
04	福井太郎様邸新築工事(C案)	2F	木造			2019/02/13
05	福井太郎様邸新築工事(B案変更)	2F	木造			2019/02/13
06	福井太郎様邸新築工事(最終)	2F	木造			2019/02/14
07	福井太郎様邸新築工事(確認申請)	2F	木造			2019/02/13
08	鈴木次郎・花子様邸新築工事	2F	木造			2019/02/13
09	鈴木次郎・花子様邸新築工事(A案)	2F	木造			2019/02/13
10	鈴木次郎・花子様邸新築工事(B案)	2F	木造			2019/02/13

物件No.	物件名	階数	構造	備考	担当者	更新日
01	福井太郎様邸新築工事	2F	木造			2019/02/13
02	福井太郎様邸新築工事(A案)	2F	木造			2019/02/14
03	福井太郎様邸新築工事(B案)	2F	木造			2019/02/13
04	福井太郎様邸新築工事(C案)	2F	木造			2019/02/13
05	福井太郎様邸新築工事(B案変更)	2F	木造			2019/02/13
06	福井太郎様邸新築工事(最終)	2F	木造			2019/02/14
07	福井太郎様邸新築工事(確認申請)	2F	木造			2019/02/13
08	鈴木次郎・花子様邸新築工事	2F	木造			2019/02/13
09	鈴木次郎・花子様邸新築工事(A案)	2F	木造			2019/02/13
10	鈴木次郎・花子様邸新築工事(B案)	2F	木造			2019/02/13

共通マスタなどが保存されている場合

共通マスタなどのマスタが保存されている物件データをインポートすると、「物件初期設定：マスタ環境 - ○○マスタフォルダ」には物件保存マスタ（物件フォルダ≠物件保存マスタ）のフォルダが設定されます。

利用するマスタをシステムマスタに戻したい場合は、「変更」をクリックして切り替えます。

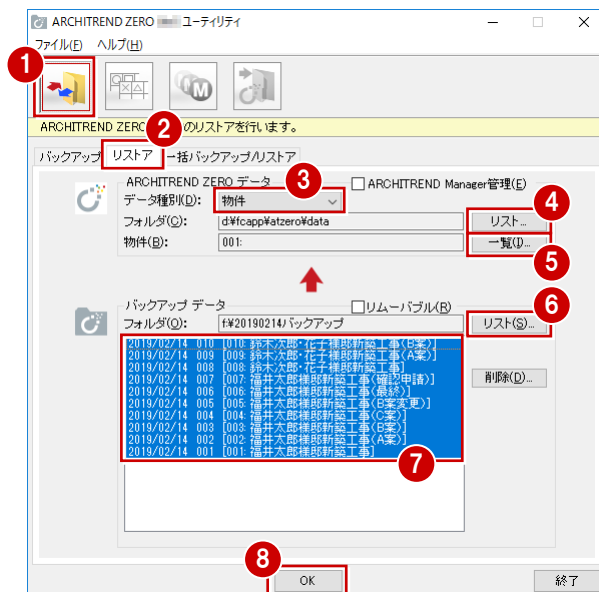


補足 ユーティリティでバックアップした物件データをリストアするには

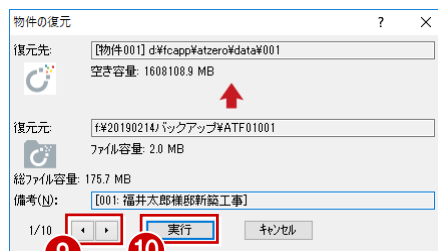
ZEROのユーティリティでバックアップした物件データは、ユーティリティでリストアします。

バックアップした全物件を一度にまとめてリストアできます。

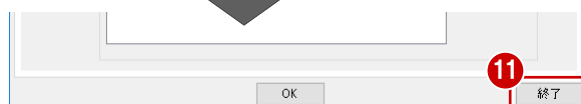
- 1 2 ZEROのユーティリティを起動し、「バックアップ/リストア」の「リストア」タブをクリックします。
- 3 「データ種別」が「物件」になっていることを確認します。
- 4 「リスト」をクリックして、物件データフォルダを選びます。
- 5 「一覧」をクリックして、空き物件を選びます。
※ 複数物件あるときは、上位の空きからリストアされます。
- 6 「バックアップデータ」の「リスト」をクリックして、バックアップデータが保存されているフォルダを指定します。
- 7 一覧からリストアする物件をクリックします（複数選択可能）。
- 8 「OK」をクリックします。



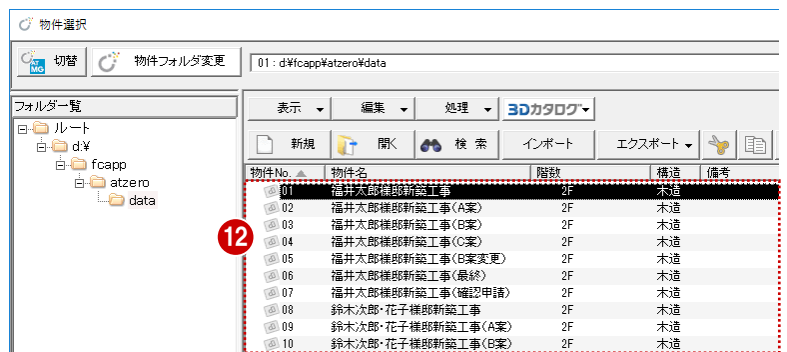
- 9 「◀」「▶」をクリックして、物件を確認します。
- 10 「実行」をクリックすると、処理が始まります。



- 11 「終了」をクリックしてユーティリティを閉じます。



- 12 ZEROを起動すると、選択した物件が取り込まれていることを確認できます。



9-4 ZEROのマスタをリストアする

ZEROのユーティリティで一括バックアップしたマスタのファイル(.ZMA)をリストアします。

- 1 2 ZEROのユーティリティを起動し、「バックアップ/リストア」の「一括バックアップ/リストア」タブをクリックします。

- 3 確認画面で「OK」をクリックします。

- 4 「リストア」タブをクリックします。

- 5 リストア先のバージョンを選びます。

- 6 「参照」をクリックして、バックアップファイルが保存されているフォルダを指定します。

- 7 一覧からバックアップファイルを選びます。

- 8 「リストアを実行」をクリックします。

- 9 リストア先のフォルダ名を設定して、「OK」をクリックします。
処理が始まります。

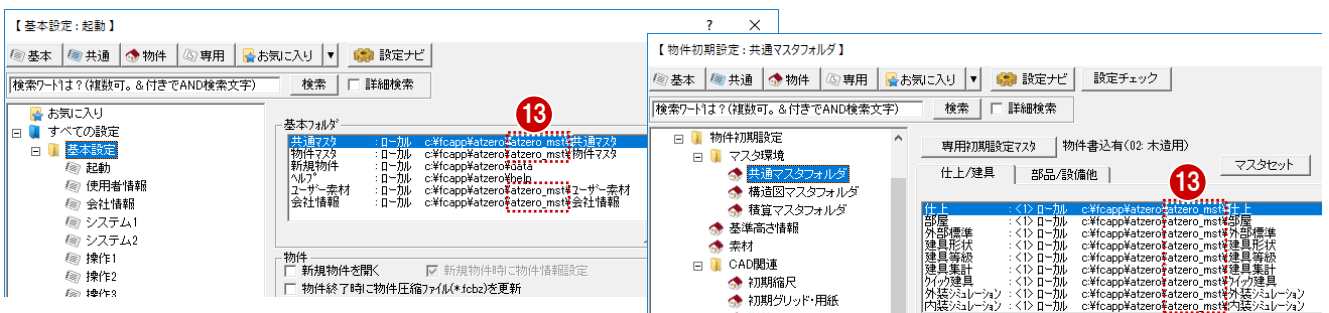
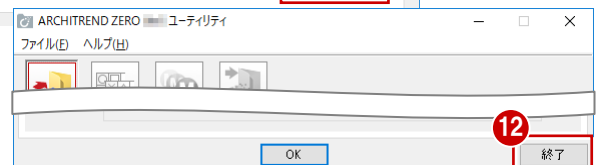
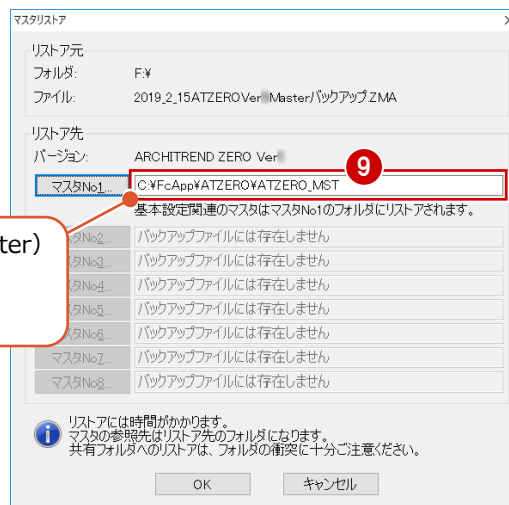
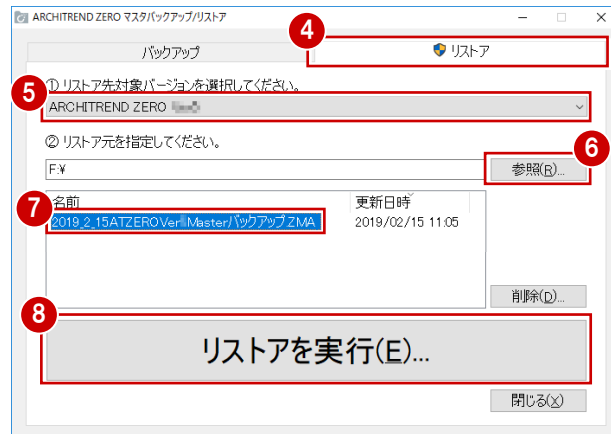
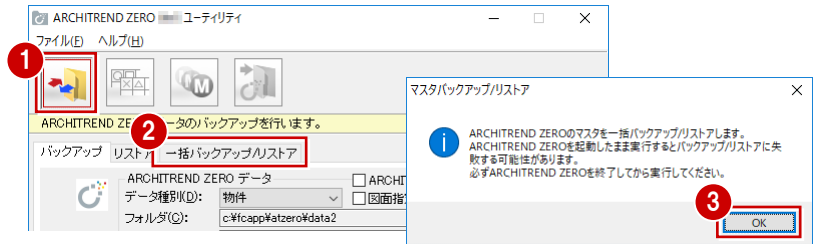
通常のパス (C:¥FcApp¥ATZERO¥ATZEROMaster) とは異なるフォルダ名が初期値として表示されます。
必ずリストア先の場所を確認してください。

- 10 完了の確認画面で「OK」をクリックします。

- 11 「閉じる」をクリックしてユーティリティに戻ります。

- 12 「終了」をクリックしてユーティリティを閉じます。

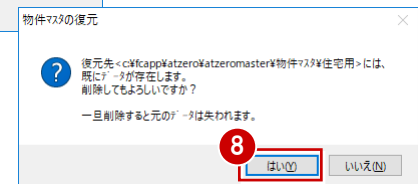
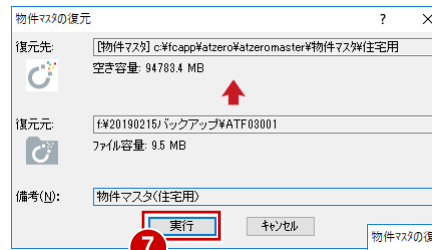
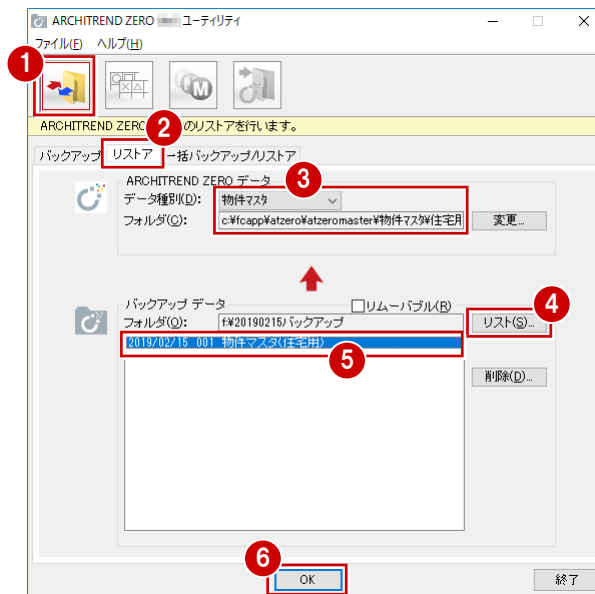
- 13 ZEROを起動すると、マスタフォルダが9で指定したフォルダになっていることを確認できます。



補足 個別にバックアップしたマスタをリストアするには

ZEROのユーティリティの「バックアップ」タブで個別にバックアップしたマスタは、「リストア」タブでリストアします。

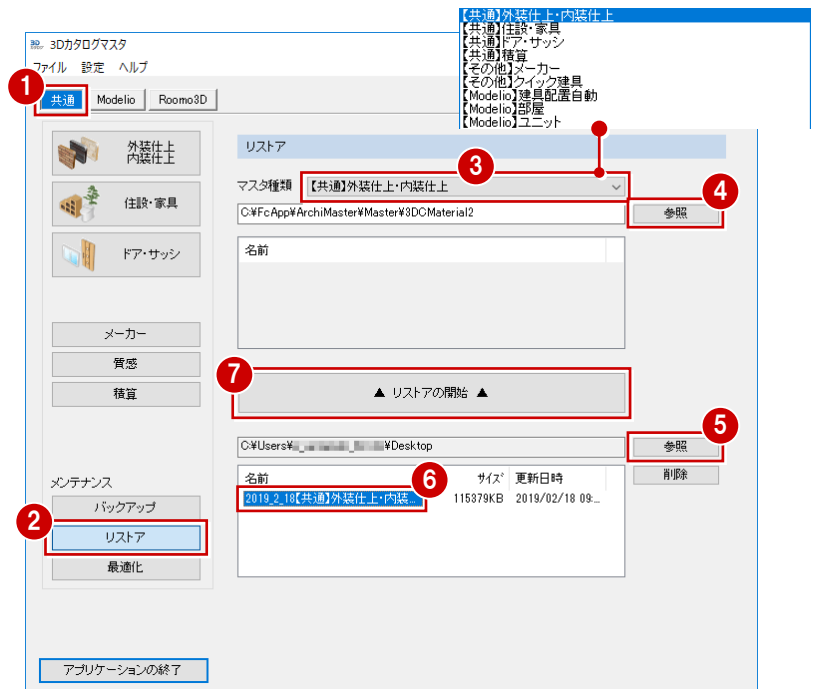
- 1 2 ZEROのユーティリティを起動し、「バックアップ/リストア」の「リストア」タブをクリックします。
- 3 「データ種別」でマスタ（ここでは「物件マスタ」）を選び、参照フォルダを確認します。
- 4 「リスト」をクリックして、バックアップデータが保存されているフォルダを指定します。
- 5 一覧からリストアするマスタを選びます。
- 6 「OK」をクリックします。
- 7 「実行」をクリックします。
- 8 リストア先にマスタデータが存在する場合は、既存マスタ削除の確認画面が表示されます。既存のマスタを確認してから処理してください。削除するときは「はい」をクリックします。



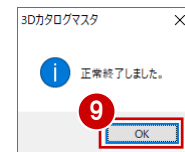
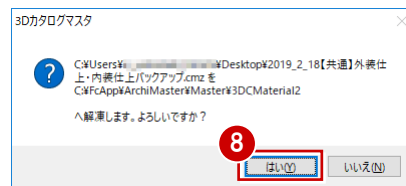
9-5 3Dカタログのマスタをリストアする

3Dカタログマスタのバックアップファイル（.cmz）をリストアします。

- 1 2 3D カタログマスタを起動して、「共通」にある「リストア」をクリックします。
- 3 「マスタ種類」でリストアの対象（ここでは「【共通】外装仕上・内装仕上」）を選びます。
- 4 上の「参照」をクリックして、リストア先のマスタデータのフォルダを指定します。
- 5 下の「参照」をクリックして、バックアップファイルが保存されているフォルダを指定します。
- 6 一覧からバックアップファイルを選びます。
- 7 「▲ リストアの開始 ▲」をクリックします。

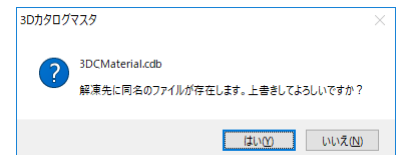


- 8 確認画面で「はい」をクリックします。
処理が始まります。
- 9 完了の確認画面で「OK」をクリックします。



リストア先にマスタデータが存在する場合

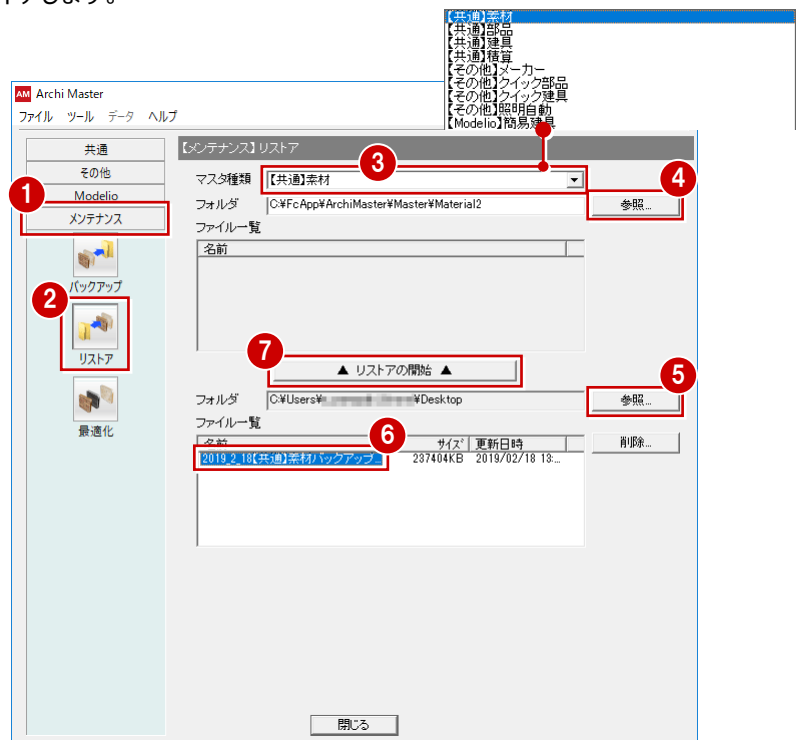
リストア先にマスタデータが存在する場合は、上書きの確認画面が表示されます。
上書きするときは「はい」、リストア先を変更するときは「いいえ」をクリックします。



9-6 Archi Masterのマスタをリストアする

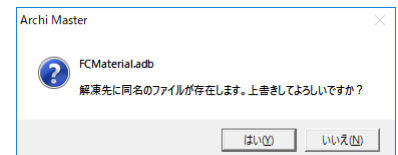
Archi Masterのバックアップファイル（.amz）をリストアします。

- 1 Archi Master を起動して、「メンテナンス」をクリックします。
- 2 「リストア」をクリックします。
- 3 「マスタ種類」でリストアの対象（ここでは「【共通】素材」）を選びます。
- 4 上の「参照」をクリックして、リストア先のマスタデータのフォルダを指定します。
- 5 下の「参照」をクリックして、バックアップファイルが保存されているフォルダを指定します。
- 6 一覧からバックアップファイルを選びます。
- 7 「▲ リストアの開始 ▲」をクリックします。
- 8 確認画面で「はい」をクリックします。
処理が始まります。
- 9 完了の確認画面で「OK」をクリックします。



リストア先にマスタデータが存在する場合

リストア先にマスタデータが存在する場合は、上書きの確認画面が表示されます。
上書きするときは「はい」、リストア先を変更するときは「いいえ」をクリックします。



9-7 AT見積のテンプレート・マスター・データをリストアする

AT見積のユーティリティでバックアップしたテンプレート、マスタ、設定、見積書データをリストアします。

1 AT 見積のユーティリティを起動して、「リストア」タブをクリックします。

2,3 「リストア先」で対象のデータを選び、リストア先のフォルダを確認します。

4 「リストア対象」の「参照」をクリックして、バックアップファイルが保存されているフォルダを指定します。

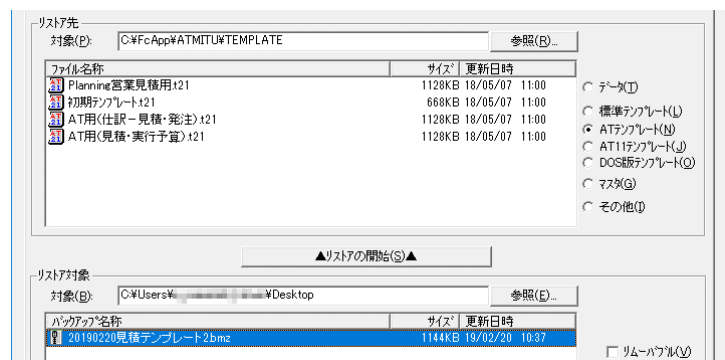
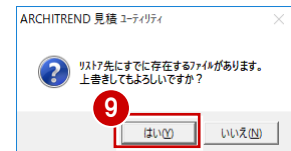
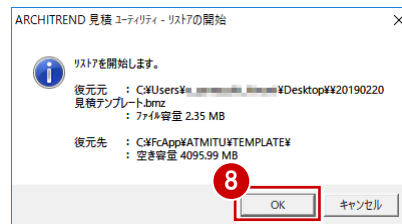
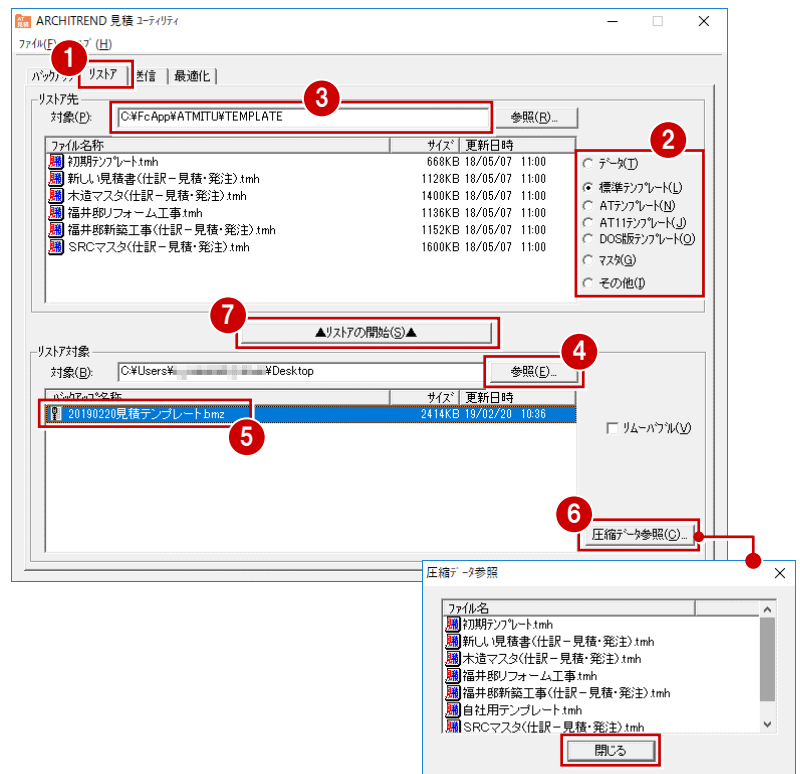
5 一覧からバックアップファイルを選びます。

6 「圧縮データ参照」をクリックして、バックアップファイル内のデータを確認します。

7 「▲リストアの開始▲」をクリックします。

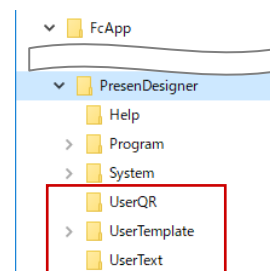
8 確認画面で「OK」をクリックします。

9 リストア先にマスターデータが存在する場合は、上書きの確認画面が表示されます。上書きするときは「はい」、リストア先を変更するときは「いいえ」をクリックします。



9-8 プレゼンデザイナーのユーザーテンプレートなどをリストアする

エクスプローラ等でリストア先のフォルダにコピーしてください。



9-9 TREND CAのテンプレートなどをリストアする

エクスプローラ等でリストア先のフォルダにコピーしてください。

